

いけいけコース 見どころスポット

1



— 馬場大門のけやき並木 —

1062年、源頼義、義家父子が、前九年の役の戦勝祈願御礼としてけやきの苗1,000本を寄進したことに始まると言われています。その後、徳川家康が関が原、大坂両役の戦勝の御礼として馬場を献上し、けやきの苗を補植しました。現在のけやき並木には、その江戸初期のものが数本残っているほか、けやきが約110本、その他えのきなどの老樹を含め、合計で約120本の木が植えられており、緑のトンネルを思わせるその景観は圧巻とも言えるほどです。大正13年、国の天然記念物に指定されました。けやきの並木道が指定されているのは日本でここだけです。

2

— 大國魂神社 —

社伝によれば、景行天皇41年(111)5月5日、武蔵国の護り神として大國魂大神を祀ったのが始まりとされています。大化の改新以後、この地に武蔵国の”国府”が置かれて以来、”国司”が祭祀を執り行っていました。平安時代に各諸神を合祀する「総社」と呼ばれるものが置かれ、武蔵国では、大國魂神社がその総社となり、さらに、平安末期には著名な六か所の神社を合祀して「武蔵六所宮」と呼ばれるようになりました。武士の世の中になっても広く武將たちの信仰を集め、衰えることがなかったようです。徳川家康が、関が原の戦いや、大坂の陣の戦勝祈願成就の御礼として馬場を献上し、本殿や拜殿、楼門を修築しています。明治4年(1871)に武蔵総社大國魂神社と改称し現在にいたっています。毎年5月の例大祭、くらやみ祭では80万人の観光客で賑わいます。



3

— 都立府中の森公園 —

武蔵野の緑に包まれた、森と丘と水のあるファミリースポーツ広場として、ジョギングコース、野球、テニス、サッカー等の運動施設が充実しています。子ども用遊具、子ども用水遊び場、傾斜を成した多目的広場等が、「森」「丘」「水」としてコンパクトにまとめられています。また、著名作家による彫刻作品が園内に8つ配置されています。家族連れで、散策、軽いスポーツ等で汗をかき、小高い丘の広場でのびのびお弁当を広げてみてはいかがでしょうか。



4

— 府中市美術館 —

美術作品とともに四季折々の自然も楽しめる美術館です。1階のスペースは、入館無料、自由に出入りできて、カフェも併設されているので、お散歩のついでにふらっと寄り道できるようなオープンな雰囲気です。お年寄りや障害者にも配慮された設計になっています。



8



— 白糸台掩体壕 —

戦時中(太平洋戦争末期)に、空襲から戦闘機を守り、隠しておくための格納施設として造られました。いわば、飛行機の防空壕です。

旧陸軍調布飛行場の周辺には、計130基もの掩体壕が設置されましたが、ほとんどは戦後に取り壊されました。現存しているのは、府中市と三鷹市に2基ずつ、計4基が残っているだけで、非常に貴重なものです。



10



— 武蔵府中熊野神社古墳 —

この古墳は、日本国内でも3例しかない上円下方墳(じょうえんかほうふん)という貴重なものであると確認されました。他の2例(奈良県、静岡県)が7世紀半から8世紀前半とされるのに対し、ここは7世紀前半と判明し、上円下方墳の国内最大で、最古級の古墳とわかりました。2005年7月に国指定の文化財(史跡)に指定されています。

9



— タマロード商店会 —
京王線多磨霊園駅前の南北に位置する商店街です。

11

— 郷土の森観光物産館 —

郷土の森公園や緑道(りょくどう)、多摩川などの豊かな自然と、多くの観光客が訪れる郷土の森博物館に隣接する新たな観光拠点として、地元農産物や市内特産品・観光関連グッズの販売や、市内の様々な観光スポットやイベント情報の提供を行っています。

また、府中観光協会キャラクターの「古都見ちゃん」から名前をとった併設レストラン「こども食堂」では、地産地消(ちさんちしょう)の推進として、府中市産の食材を使ったメニューを取りそろえています。是非ご利用ください。



12



— 郷土の森博物館 —

約14haの広さの”郷土の森”がひろがるフィールドミュージアムです。昭和62年に開園。敷地には府中の歴史や風土・自然を紹介する博物館本館、プラネタリウムや、8棟の復元建造物、広々とした芝生広場、梅園、水遊びの出来る池などがあります。博物館本館の、常設の展示室には、考古、歴史、民俗、自然、天文のそれぞれの分野ごとに、実物の資料が展示されているばかりでなく、映像や模型なども使って、府中の歴史や、自然をわかりやすく紹介しています。

ふるさと体験館では土日に、府中市などに伝わる伝統的なものを作ったり出来る体験学習も開かれています。わらそうり教室や、竹とんぼ教室などの事前の申込みがいるものから、当日申込みができるものもあり、職人や専門家の”名人技”“を見ることもできます。コンサートや、お茶会なども開かれるなど、家族みんなが楽しめる施設です。広い園内を四季の移ろいを感じながら巡ってはいかがでしょうか。

7

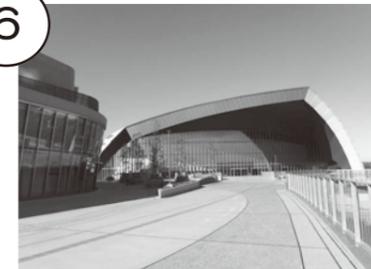


— 味の素スタジアム —

約5万人を収容できるスタンドがあり、サッカーやラグビー、コンサートなど様々なイベントが開催されています。

東京2020オリンピックの競技会場の1つとして、サッカー、ラグビー、近代五種が開催されました。

6



— 武蔵野の森総合スポーツプラザ —

東京2020大会の競技会場の1つとして、オリンピックではバドミントン、近代五種のうちフェンシング、パラリンピックでは車いすバスケットボールが開催されました。

5



— 府中朝日フットボールパーク —

ラグビーワールドカップ2019ではイングランド・フランス・南アフリカ代表、東京2020オリンピックでは7人制日本代表のキャンプ地になりました。2019年に日本オリンピック委員会より、「JOC認定競技別強化センター」に認定され、国内に3か所ある「ラグビーの認定施設の1つとして、選手強化などの取組が図られています。